



# 箕面小だより



箕面市立  
箕面小学校  
令和7年(2025年)  
10月号

学校教育目標  
めざす子ども像  
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

## みんなで作る

校長

少しずつですが秋を感じる季節となりました。先日行われた学習発表会では、PTA 役員さんの周到なご準備、みなさんのご協力により、円滑に会も進行され、多くの方に拍手を送っていただくことができました。ありがとうございました。

わたしは、子どもたちの歌声が大好きです。子どもたちの歌声を聴くことは、この仕事をしていて幸せを感じられる時間のひとつにもなっています。子どもたちの歌声には、無邪気さ、まっすぐさ、時には心の揺れや悩み…、今この瞬間の気持ちが込められています。たとえ少しぐらい音を外しても、恥ずかしそうにしている、その声仲間と響き合い、一つの歌声となって聴く人の心に届きます。この歌声から、わたしはいつも言葉では言い表せない力をもらっている気がします。

学習発表会も、まさにその力をもらえた時間でした。一人ひとりの声や音が重なり合い、学年ごとの色が出て、子どもたちの努力が音となって響いていました。緊張しながらも一生懸命に歌う姿。友だちと目を合わせ、ほっとしたように微笑みながら歌う姿。歌詞の一つひとつをかみしめ、自分の想いを重ねながら歌う姿——。歌を通して、子どもたちが自分を表現し、誰かとつながっていく瞬間が、そこには確かにありました。

昨今では、個の能力の伸長に重きがおかれがちで、「みんなで…」といったことは敬遠される傾向があります。確かに、一人ひとりの力を認め、伸ばしていくことは大切です。しかし、こうしてみんなで歌声を合わせ、一つのものをつくり上げるという経験は、子どもたちにとってかけがえのない学びの機会になります。

自分の声だけでなく、仲間の声に耳を傾け、互いに支え合いながら一つの音楽をつくる。その過程には、協力することの喜びや、違いを認め合う心が育まれます。誰かと一緒に何かをつくることの楽しさ、難しさ、そして達成感。それは、個だけでは得られない「つながり」の中から得られる力です。この「みんなで…」という姿勢を大切にしながら取り組んできた学習発表会。仲間とともに創り上げていく過程の中で、子どもたちそれぞれが何かを肌で感じ取ってくれたことを願うばかりです。

箕面小学校では、今という時代だからこそ、「みんなでつくる」ことの価値を見つめ直し、子どもたちの心に残る経験として積み重ねていけるよう、これからも一步一步、確かな歩みで教育を進めてまいります。